



常に附属らしさを発揮して

～ 7月までの生徒の頑張り～

私は仕事柄、多くの学校を訪問させていただき、多少ですが様々な学校の様子を知っています。私の4月からの感想は、「附属中に赴任できて幸せ！」です。(皆様に感謝！)

子ども達は、様々な頑張りを見せてくれています。「汗と感動あふれる体育大会」「力の限り挑んだ中総体」「今までで最高の演奏だったコンクール」「朝の挨拶もよくなりました!!!」…キリがありません！

そんな中、授業中の様子が「明るく前向きになった!」と感ずることが多くなりました。日々の授業、生活を子どもと先生たちがつくり、附属の力(附中らしさ)を精一杯発揮しています。子ども達と先生たちに感謝です!!!

私は、校長室で文書処理に追われると、逃げるように(逃避して)子ども達の教室に向かいます。そこで、うちの子供達からパワーをもらい、次の書類に向かう日々です。子ども達には感謝しかありません。

先日、E級の子供達が「本当に美味しい!カレーとサラダ」を届けてくれました。E級さんからは、トウモロコシをいただいたこともあり、栄養面からも支えられています。(感謝)。



「命」「心」「学び」そして、「危機回避」

入学式などで話したことを、常に考えさせるようにしています。

「命を守る。」「心を育てる。」「学びを充実させる。」そして、「**危機回避能力**」です。

特に、夏休み期間は、子ども達に「**危機回避能力**」を発揮させたいと願っています。

夏休みは普段と違って、行動範囲が広がったり、友人や活動時間が変化したりすることがあります。少し遠くに行ったがために交通事故に巻き込まれたり、普段いかない場所に行って水難事故に遭遇したりすることがあります。生徒指導面では、いつもと違う友人と行動したり、帰宅時間が遅くなったりすることで、生活が崩れることも考えられます。

子ども達を信じて、全てを許すのではなく、子ども達と話し夏休みの様子を共有し、保護者と子どもが納得して過ごせるといいですね。

うちの附属中の生徒達は、礼節や自制心をもち、「何に気をつけないといけないのか?」「どう行動しないといけないか?」を考え行動できる子ども達です。しかし、自分が気をつけていても**巻き込まれる**ことがあります。

さあ、**どうすれば危機を回避できるのか!?**。ちょっとだけでも話して、出かけさせてください。

生成AIは「正論を語れても、正解とは限らない!」

～本校の研究と結び付けて～

先月、プロ野球の監督が「自宅で長女に暴行を加えて現行犯逮捕(不起訴処分)」という事件がありました。その際、長女が現状を「生成AI」に相談し、提示されたアドバイスを元に児童相談所へ通報し警察が駆けつけることとなりました。その長女が悪いわけでもなく、一番傷ついているのは本人なのかも知れません…。そんな話を、亀井教務主任としていた時、亀井先生は「**生成AIは正論は出せても、それは正解とは限りませんよね。**」と、私に語ってくれました。「ほ～っ!さすが!!」

本校は、本年度から「クリティカルシンキング(批判的思考。いい意味での包括的な考え方)」を授業に取り入れた研究を進めています。これは、次期学習指導要領策定に向けた国の方針の中で、重視されていることです。

すなわち、本校では先日のMRTニュースで取り上げられたように、**積極的に生成AIを授業に取り入れますが「生成AIや様々な情報が、正しいのか?」「私たちにあってその情報や生成AI環境は、本当に良いことなのか?」**など、高度情報

社会である現代に、「生きる生徒」、いや、「**生き抜ける生徒**」を育成したいと考えています。

生まれる前から携帯電話があり、デジタル化された生活を送ってきた子ども達が、これから、躍進する超デジタル社会で、「よりよい選択ができ、幸せを築けるよう。」新たな授業実践に挑戦していきます。



「附属学校園 PR大作戦」進行中!

今週、附属幼稚園の「着衣水泳」がテレビで! 附属小学校は宮日新聞の「若い目」に児童の投稿がよく載っています。

本校も島崎教頭を中心に、毎週のようにマスコミ各社にFAXを送り取材をお願いしています。

はたして、その成果は! 校長室の廊下の掲示板に貼っていますので、ご覧ください。

テレビでは、先週のサッカー部など、5回ほど放映されています。

みんなの頑張りを県内外へ! もしかしたら、8月下旬に全国放送(TBS)に出るかも…。お楽しみに! 良い夏休みを(猪野)

